

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-197246

(P2002-197246A)

(43) 公開日 平成14年7月12日 (2002.7.12)

(5) Int.Cl.	識別記号	FI	キーワード(参考)
G 0 6 F 17/60	1 6 4 5 1 2	G 0 6 F 17/60	1 6 4 5 1 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 OL (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-348681(P2001-348681)

(22) 出願日 平成13年11月14日 (2001.11.14)

(31) 優先権主張番号 0027845.7

(32) 優先日 平成12年11月15日 (2000.11.15)

(33) 優先権主張国 イギリス (GB)

(71) 出願人 501278951

ブイエチソフト アイビー カンパニー
リミテッド

中国、ホンコン、カウルーン、カウルーン

ベイ、シェウン ユエット ロード

9、エンタプライズ スクウェア、タワ

ー 1、テンス フロアー

(72) 発明者 ティン チェウン コンラッド ウォン

中国、ホンコン、カウルーン、カウルーン

ベイ、シェウン ユエット ロード

9、エンタプライズ スクウェア、タワ

ー 1、テンス フロアー

(74) 代理人 100066832

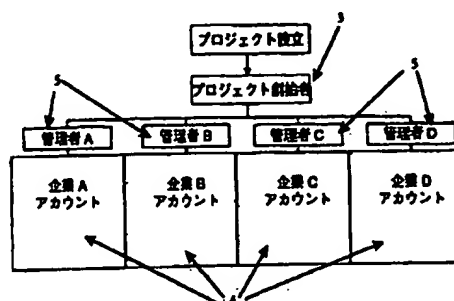
弁理士 浅村 皓 (外3名)

(54) 【発明の名称】 共通接続プラットフォームを介した電子ファイルの選択的分配

(57) 【要約】

【課題】 1つのプロジェクト内の複数の関係者に、選択的に電子書類または情報を分配するための方法を提供する。

【解決手段】 1つのサーバーを用意し、複数アカウント、複数管理者プラットフォームを設定する。同一プロジェクトに関連する個々の関係者は、前記サーバー上に彼等自身の領域を与えられ、前記サーバー全体の管理者とは異なる、彼等自身で指名した管理者に管理させる。このプロジェクトに参加している関係者はプロジェクト参加者全員に電子書類またはデータを送信する事も、選択された関係者のみに送信する事も可能である。受信された書類またはデータは個々の関係者が彼等自身の管理に適した方法で取り扱うことが可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファイル形式の電子書類または情報、またはデータをプロジェクト主催サイト内の複数の関係者に、インターネットを介して複数アカウント、複数管理者プラットフォームであって、1つのサーバー上に維持され、このサーバーが全サーバーを監視している管理者により管理監督されている前記プラットフォームを使用して分配するためのシステムにおいて、送信者がそのファイルそして/またはデータをそのプロジェクト内のその様な関係者全てに分配可能であり、またはそのファイルそして/またはデータをそのプロジェクト内の選択された関係者に選択的に分配可能である、前記システム。

【請求項2】 請求項1記載のシステムにおいて、各々の関係者に対してそのサーバー上に彼等自身の個別のプラットフォームが与えられており、各々のその様な個別のプラットフォームがそのサーバー上の他のプラットフォームに接続されており、各々個別の関係者がサーバー上の彼等自身のプラットフォームへのアクセスを、サーバー全体を監視している管理者とは独立した彼等自身の管理者によって管理可能である、前記システム。

【請求項3】 請求項1記載のシステムにおいて、全ての関係者は電子ファイルそして/またはデータを彼等自身のコンピュータからそして/または直接入力でアップロードすることが可能であり、またプロジェクト内の全ての関係者にアドレス指定をしてデータをアップロードし、ファイルまたはデータを全ての関係者に送信する、前記システム。

【請求項4】 請求項1記載のシステムにおいて、全ての関係者は電子ファイルそして/またはデータを彼等自身のコンピュータからそして/または直接入力でアップロードすることが可能であり、また選択された関係者にアドレス指定をしてデータをアップロードし、ファイルまたはデータをそれらの選択された関係者のみに送信する、前記システム。

【請求項5】 請求項3記載のシステムにおいて、送信者によって選択された各々の関係者は、そのサーバーへのアクセスを有するプロジェクトのその他の関係者からはアクセス不能なファイルの彼等自身のコピーを受信し、これによって前記関係者は受信されたファイルを自由に取り扱える、前記システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は共通接続インターネットに基づくプラットフォームを経由して電子ファイルを選択的に分配するためのシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 全ての建設プロジェクトには、それを実行するための多くの関係者、例えば開発者、建築家、技術者、主請負業者、指名下請業者、孫請業者および部品製造業者が含まれている。その様なプロジェクトでは多

量の書類、例えば手紙、図面、写真、現場指図書等が発生することは避けられない。書類は毎日作り出され、図面は改訂され、計画および設計は修正される等である。プロジェクトを円滑に進行させるために、全ての改訂書類および情報が関連する関係者に届くことがきわめて重要である。

【0003】 建設プロジェクトの性質は非常に流動的で、変更はプロジェクト全般を通して常に行われる。全ての変更または改訂は、それが大きなものであろうと小さなものであろうと、記録されて全ての関係者により承認を受けなければならないが、それは1つまたは複数の関係者間での契約責任に影響を与えかねないからである。従って全ての改訂および指示が適切に送られて、異なる関係者が彼らの対応を行えるようにすることは極めて重要である。非常にしばしば同一の書類または指示を契約に参加している多数の企業、また同様に各企業内の複数の個人に送らなければならない場合がある。

【0004】 インターネットの出現以前、複数の関係者間の通信は適切な関係者に送られる関連書類の物理的コピーに依存していた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 情報を流布し配布するためのこのシステムは、大容量の書類のファイリング、最新情報へ確実に素早くアクセスできること、全ての関連する書類が適切な関係者に確実に送られること、およびその様な大容量の情報を種々変化する場所へ配送するための側方支援運送機構などの問題を抱えている。書類を配送するための人手に頼るシステムの更に別の問題は、移送中に間違えてファイルされたり、置き間違えたりまたは単に紛失することである。

【0006】 1つのプロジェクトに拘わる異なる関係者が異なる国に存在していることは特別なことではなく、書類を配布し回覧する問題は更に悪化する。従って、例えば図面を修正する企業が海外に存在している場合、改訂および変更を実行するために図面をやり取りすることが困難になる。その様な図面を送るための実際の方法は宅送便しかない場合がしばしばである。これはコストを上昇させるのみならず、図面の完成を遅らせることになる。

【0007】 その様な配送上の問題は、インターネットの出現によりある程度解決されている。このインターネットはプロジェクトの関係者に対して、情報を分配しアクセスするための共通のアクセス・プラットフォームを具備している。その様な共通アクセス・プラットフォームはプロジェクト主催型ウェブサイトを進化させてきており、それらは典型的に単一アカウント、単一最終管理者プラットフォームである。

【0008】 この型式の共通アクセス・プラットフォームでは典型的にその開発者は、そのプロジェクト・ウェブサイトの主権するためのソフトウェアおよびハードウ

ウェアを提供するためにサービス・プロバイダと契約している。続いてサービス・プロバイダはその開発者に対してそのサーバー上の領域を割り当てると共に、書類がサーバーとやり取りできてまた管理するために必要なソフトウェアを設定する。このサイトは通常、開発者から派遣された人間により管理されており、この人間はそのサイトの正当性を維持するための全責任を有する。

【0009】典型的にその様なプロジェクト主催サイトは、全ての関係者が書類の同一の、単一コピーにアクセス出来るようにしている。従って、関係者の1つが何らかの指令を与えるか、または書類を他の関係者に送りたいと望む際に、その関係者は関連するファイルを電子形式でサーバーにアップロードする。一度このファイルがサーバー上に存在すると、これはそのレベルでのこのプロジェクトに対する必要なセキュリティ許可を有する全ての関係者が利用出来るようになる。従って、共通アクセスを提供する事により、全ての関係者が同一情報にアクセス可能となる。

【0010】この様なシステムは、関係者が情報および書類をその関係者が物理的に何処に居るかに関係なく、より早くかつ更に効率的に分配および配布することを可能としている。従って例えば、全てのエンジニアリング図面がサーバー上の共通アクセス・プラットフォームにアップロードされ、設計者が必要に応じて図面を改訂または変更して、その改訂版をサーバーにアップロードすることを、インターネット以前の人手に頼る方法と比較して数分の1の時間でを行うことを可能としている。

【0011】このシステムは全ての関係者が同一情報に単一アクセス・ポイントを通してアクセスできるので理論的には良好に動作する。しかしながら、実際はこのシステムに固有の実際上の問題が存在する。情報分配用の共通アクセス・プラットフォームシステムの長所はまた、全ての関係者がサーバーにアップロードされた情報にアクセスする可能性があるという、原理的な欠点でもある。

【0012】これらの型式のプラットフォームでは、通常1つの関係者にそのプラットフォームへの管理的アクセスを行う絶対的な責任が与えられている。常にその管理者は参加企業の1つのスタッフである。従ってこの関係者はサーバー上の全ての情報に対して、その情報に権利を与えられているか否かに係わらずアクセスし管理する。

【0013】プロジェクト内の異なる関係者が、法律上、契約上、秘密上またはその他の理由からその情報の一部または全てをそのプロジェクトのその他の関係者に開示したくないと望む場合もある。例えば、主契約者がその下請け業者と顧客/設計者に知られることなく内密に通信したいと希望する場合がある。また、書類ファイル・システムは全ての関係者に対して標準化されて、各々の関係者が企業単位で書類管理のカスタマイズ

を行う余地を少なくしなければならない。

【0014】その様な環境では、全ての関係者がプロジェクトに関係する全ての情報にアクセス可能とするようなオープン・プラットフォームでは、それらの関係者がそのオープン・プラットフォームを使用する意欲をそがかねない。

【0015】

【課題を解決するための手段】本発明はオープン・プラットフォームに係わるこの欠点を、種々の関係者が選択的に書類および秘密情報を電子形式でインターネット上のオープン・プラットフォームを使用して閲覧出来るようにすることで解決することを目指している。

【0016】本発明は電子ファイルを共通アクセス・プラットフォームを経由して選択的に分配するための方法に関し、これにより使用者はインターネットに基づくプラットフォームを使用し、同時にそのファイルが選択された関係者のみでアクセス出来ることを保証している。種々の関係者の間で情報および書類の選択的分配を可能とするシステムは、複数のアカウント、複数の管理者プラットフォームを生成する必要がある。その様なシステムでは個々のプラットフォームは企業体の各々の関係者に対して生成され、それは自己管理されてプロジェクト作業領域の構成要素として存在する。

【0017】その様なシステムでは、全ての関係者に利用可能として作成された書類は自動的に各企業のプラットフォームにアップロードされるが、選択的に分配されるべき書類は送信者によって指定されたプロジェクト作業領域内のその他の構成要素プラットフォームのみに送られる。安全な、個別のプラットフォームを保守することでプロジェクトの各々の関係者は、書類管理、文書保管および内部閲覧の理由から、データの彼等自身固有の写しを所有し、これは共通アクセス・プラットフォームを通してのみ利用可能な1つの共通データファイルとは対照をなしている。

【0018】使用者自身の個別プラットフォーム内での内部閲覧を保守することにより、使用者は全ての個別データに関して受領された全てのコメント/フィードバックが、その他の使用者が利用できないように保証することが可能であるが、それはその他の使用者がオープン・プラットフォーム上に居るためである。従って、使用者は全ての内部コメントに関する秘密を維持することが可能である。

【0019】従って、仮に企業Aが書類を企業BおよびCへは送るが、企業Dには送らない場合、データを受領者として企業BおよびCを指定するサーバーにアップロードする。続いてこのデータは企業BおよびCのプラットフォームのみに送られる。この方法でデータの選択的分配が実現できる。従って、このシステムは関係者が公開および秘密ファイル、報告書およびその他のこの様なプロジェクトに関連する情報を選択的に分配する目的で

共通アクセス・プラットフォームを容易にかつ積極的に使用できるようにしている。

【0020】(動作方法)電子ファイルの選択的分配を行うシステムは、全ての関係者がアクセス可能な1台のサーバーを設立する必要がある。このサーバー上には各々個別の参加企業が彼等自身のプラットフォーム、すなわちサーバー上の彼等自身の個別領域を確立し保守するための設備が具備されている。このプラットフォームはその企業自身の管理者によって排他的に管理される。その管理者のみがその企業によって彼等自身のプラットフォーム内に保持されている全ての書類にアクセスでき

る。従って複数アカウント、複数管理者システムが1つのサーバー上に設定できて、これは各々のアカウント所有者に対してこのサーバー上に個別領域を提供し、その領域へのアクセスはその企業自身の管理者の排他的制御の下に行われ、これはサーバーの全体監視をしているグローバル管理者とは独立して行われる。

【0021】サーバー領域を確立または創始している関係者は、全ての関係者に対して共通プロジェクト識別子を提供し、これは同じ共通プロジェクト作業領域内で動作している複数の個別プラットフォーム間の連結として作用する。

【0022】書類の効率的な管理を行うために、サーバーには書類が全プロジェクトに対して均一の方法で管理およびファイル出来るようにするための基本ツールが具備されている。従って書類はサーバーに同じ様式でアップロードされるので、全ての関係者が関連する書類を容易に配置することが可能である。

【0023】情報をサーバーにアップロードしたいと所望する全ての使用者は、最初にその使用者自身のデジタル・ファイルまたは例えばデジタルカメラまたはスキャナーの様なその他の外部資源からアップロードしたいと所望するそのファイルを選択する。続いてその使用者はその書類の送り先を、その使用者自身の分配リストまたは開発者から提供された分配リストから選択して、単一または複数の受領者を指定する。受領者が選択されると、続いて使用者はそのファイルをサーバーにアップロードできる。ファイル属性がアップロードされるファイルに割り当てられて、そのファイルが容易に参照されたりまた同様にシステム検索エンジン経由で探し当てられるようにしている。

【0024】サーバーではそのファイルは、ファイルの発信元または送付者で選択された分配リストに基づいて分配される。各々個別の受領者は最初に彼等の新着ファイルが有ることを知らせる「最新情報」ウィンドウの中で、メッセージを受け取る。更に、このファイルはその企業のファイルシステム内に含まれる予め定められた「受信箱」に送られる。このファイルはこの受信箱の中に、全ての指定された受領者がそのファイルを開くまで存在し、それ以前はそのファイルは移動、削除、修正突

更または書庫保存する事が出来ない。

【0025】全ての受領者で開かれると、このファイルは必要なアクセス権を有する使用者が管理できる。従って、例えばファイルが企業A、BおよびDに分配されて、企業A内の受領者が一度そのファイルを開くと、そのファイルは企業Aによってそれに適する方法で格納することが出来る。

【0026】使用者はまたそのファイルを自身の施設内で分配して、そのファイルの取扱時間基準を設定する場合がある。従って例えばファイルが、受領者は予め定められた時間期限内にコメントを付与すること、という指示付きで内部的に分配される場合もある。

【0027】他の関係者から受信した任意のファイルを内部閲覧するためには、使用者はそのファイルをシステムにアップロードされたものの中から選択して、続いて受領者を選択する。この場合、受領者はこの企業内部の人々である。使用者グループが定義可能であり、定期的に分配する同一の複数使用者を選択する際に毎回個別に選択しないで良いように出来る。閲覧は、回答が不要な場合は情報のみで実行し、何らかの行動が必要な場合は発信者によって応答時間が設定される。メッセージは指示用のファイルと共に受領者に送られる。受信された全てのコメント/フィードバックは、プラットフォーム上の使用者自身の個別システム内部に保持され、その他の使用者がアクセスすることは出来ない。従って全ての内部コメント/フィードバックの秘密は保証される。

【0028】各々の使用者は個別の内部閲覧日誌へのアクセスを有し、この日誌は全ての後からリンクされた応答または更に別の閲覧と共に送信または受信された元の閲覧の記録を保持しており、閲覧の履歴を日誌に保存して監視することを可能とする。応答が元の制限時間内に受信されなかった場合、メッセージは同時に送信者および受信者に対して最新情報機能を介して生成され、彼等に情報を通知し応答が送られるまで毎日これを行う。この方法で1つの組織内の全ての関連する関係者が、効率的にタイミング良く書類を受領して行動出来るように保証している。

【0029】これは発信者が書類またはデータを複数箇所に送付したり、書類/データをサーバーにアップロードする必要を無くする。

【0030】ファイルが送付されるべき受領者を選択することにより、使用者は誰がその情報にアクセスするかを管理することが可能であり、従って使用者は共通アクセス・プラットフォーム上での選択的分配を実現できる。

【0031】単一アカウント単一管理者型プラットフォームでは、開発者は1つのプラットフォーム上にサイト(1)を設定し、これはサードパーティー・プロバイダから提供されるものである。サイト全体は単一管理者(2)によって管理され、この管理者は全サイトの整合

性に対する責任を有する。プロジェクトの全ての関係者はそのサイトへのアクセスを有し、そのプラットフォームとの間でデータのアップロードおよびダウンロードを行うことが出来る。管理者は誰がどのデータにアクセスを有するか、またこのデータが変更修正そして/または削除が可能かの管理を保有する。

【0032】複数アカウント、複数管理者型プラットフォームでは開発者はプロジェクト(3)を設定する。次にそのプロジェクトの種々の関係者は、サービス・プロバイダと契約して、サーバー(4)上に彼等自身の領域が割り当てられる。続いて各々の企業は彼等自身の管理者(5)を指名してその企業のサイトを管理する。企業Aが或るデータを企業Bおよび企業Cに送りたいと希望すると、送信されるべきデータを自身のファイルから選択し、続いてこれをサーバー(4)上の企業Bおよび企業Cのアカウントに対してアップロードする。このデータが一度企業Bおよび企業Cで受信されると、これらの企業はそのデータを彼等に適すると思うように自由に取扱う。企業Dはそのデータを受領せず、従ってそのデータの内容は関知しない。

【0033】従ってそのプロジェクトの各々の関係者 *

*は、プロジェクト内の全てのその他の関係者から個別の情報を、彼等自身のプラットフォーム上に保持することが可能で、そのデータへのアクセスを有する者によって完全に管理することが出来る。

【0034】此処に開示された選択的ファイル分配方法は、複数の関係者が含まれている全ての工業分野に適用できる。此処での建築業界での使用は使用方法論の1例に過ぎず、図示の目的でのみ使用されている。

【図面の簡単な説明】

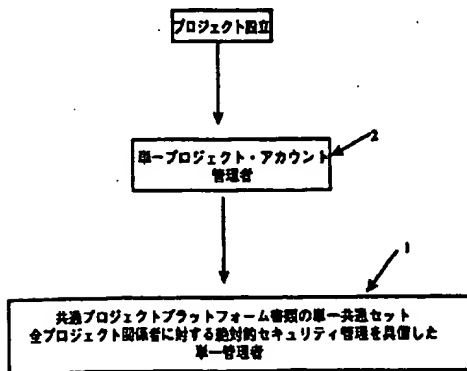
10 【図1】図1は、単一アカウント、単一管理者を具備した典型的な共通アクセス・プラットフォームプロジェクト主催ウェブサイトの流れ図である。

【図2】図1は、複数アカウント、複数管理者プラットフォームプロジェクト主催ウェブサイトの流れ図である。

【符号の説明】

- 1 共通プラットフォーム上のサイト
- 2 単一プロジェクトアカウント管理者
- 3 プロジェクト創始者
- 20 4 企業アカウント
- 5 企業別管理者

【図1】



【図2】

